



国際交流基金

<http://www.jpff.go.jp/>

PRESS RELEASE

July 12, 2006, No. 170

第2回 日墨文化サミット が金沢で開催されます。

昨年9月にメキシコで開催された第1回日墨文化サミットに引き続き、第2回の会合を石川県金沢市で開催することとなりました。

日本とメキシコの関係は、400年以上にわたる交流と友情に支えられ、メキシコは中南米有数の親日国となっています。また、日・メキシコ経済連携協定の発効によって両国関係は重要な節目を迎えています。この好機を活かして、経済分野のみならず文化交流を含めた幅広い分野で交流を促進し、バランスのとれた形で二国間関係を緊密化させることが日墨文化サミットの狙いです。

第2回となる今回のサミットでは、豊かな伝統文化を育んできた歴史都市・金沢を舞台に、グローバル化の時代において文化的固有性が如何に確保されるかとの問題意識のもと、日本とメキシコのそれぞれの役割、今後の文化交流のあり方等について幅広い意見交換を行う予定です。

日程：2006年7月20日（木）、21日（金）

場所：石川県金沢市

参加有識者

（日本側（敬称略、座長以外は50音順））

- （1）小倉和夫 国際交流基金理事長（日本側座長）
- （2）伊東豊雄 建築家
- （3）落合一泰 一橋大学教授
- （4）高坂節三 コンパス・プロバイダーズL.L.C.日本代表
- （5）恒川恵市 東京大学教授
- （6）中村桂子 JT生命誌研究館館長
- （7）永井多恵子 NHK 副会長
- （8）蓑豊 金沢市助役、金沢21世紀美術館館長
- （9）吉田喜重 映画監督

（メキシコ側）

- （1）サリ・ベルムデス 国家文化芸術庁（CONACULTA）総裁（メキシコ側座長）
- （2）カルロス・アシダ カリージョヒル美術館館長
- （3）アウレリオ・アシアイン 作家、在日メキシコ大使館文化担当官
- （4）リディア・カマチョ 教育ラジオ代表
- （5）ルシアーノ・セディージョ メキシコ国立人類歴史学研究所所長
- （6）フリエタ・フィエロ メキシコ国立自治大学教授
- （7）セルヒオ・ゴンサレス・ガルベス 元外務次官、元駐日大使
- （8）テオドーロ・ゴンサレス 建築家
- （9）ルイス・マルティン・ロサーノ 近代美術館館長

お問合せ：日本研究・知的交流部 企画調整・米州課（担当：山本）

電話 03-5562-3526